

令和4年度 第1回学校運営協議会 議事概要

- 1 日時 令和4年6月24日(金) 開会 13時27分 閉会 14時58分
- 2 場所 岡山県立玉野高等学校会議室
- 3 出席者
- | | | | | | |
|----|-----|-----|----|----|--------|
| 委員 | 五老海 | 正 登 | 委員 | 東福 | り え |
| 委員 | 稲田 | 秀 知 | 委員 | 藤本 | 泰 久 |
| 委員 | 恵谷 | 栄 一 | 委員 | 原山 | 直 正 |
| 委員 | 大川 | 佳 郎 | 委員 | 崎山 | 裕 正 |
| 委員 | 大倉 | 明 | 委員 | 山根 | 一 人 |
| 委員 | 谷 | あゆみ | 委員 | 山本 | 育 子 |
| 委員 | 豊田 | 啓 介 | 委員 | 藤原 | 修 (校長) |
- (敬称略)
- 事務局 教 頭 栗 田 武 治
事務部長 横 田 輝 彦
主幹教諭 寺 岡 俊 之 志
指導教諭 岡 本 崇 志

4 議事の概要

開会

(1) 会長及び副会長の選出

豊田啓介委員を会長、山根一人委員を副会長とすることに決まった。

(2) 説明

校長が令和4年度の学校経営計画について説明した。

事務局担当者から、学校経営計画及び目標達成に向けた具体的方策について、教育課程の編成について、授業改善について、組織編成について、予算執行について、それぞれ説明した。

校長から、地域との協働に係る取組「Tamano Grow up School」(TGS)プランを提案した。

テレビ報道で取り上げられた本校の活動の一部を視聴した。

(3) 意見交換

校長及び事務局からの説明を受けて、各委員で意見交換を行った。概ね次の3点について、意見が交わされた。

①学校経営計画、グランドデザインについて

- 前任校で地域連携に取り組み、生徒募集にも効果が現れてきていた実績のある校長に期待する。
- 社会におけるチームというものを理解している若者が多いことは教育のおかげであり、感謝する。
- 社会に貢献できる人材の育成はありがたい。進学時に、生まれた人間力がうまく繋がってほしい。
- 「夢」という言葉がでてくる素敵なスクールポリシーである。
- PDCAのDo (どのように学ぶか) の中に「協働的な学び」という言葉を用い、項目の順序にも配慮する。
- さらに、Check (何が身に付いたか) の中に個別最適な学びはどうあるべきか、探究的な学びはどうあるべきか、も含めるとよりよい良いグランドデザインになる。

②教育課程、授業改善について

- グランドデザイン内の重点目標(2)①について、「個別最適な学び」と「協働的な学び」が生徒の学力向上を図る事業の成否を左右する大きなキーワード。個の学びと協働的な学びが両輪として機能することが大切である。
- 個別最適な学びの実現に向け、教育課程で様々なコースを設定しているが、それがすべてではない。たやすいことではないと思うが、実現に向けて期待する。
- キャリア教育をとおして、与えられたものではなく、自分で夢や目標を持ち、それを実現するための力を身に付けてほしい。
- 高校の様々なフィールドワークを実践した後、残った課題や必要な能力等を考えさせる機会を持たせ、言語化し、論理的に説明することのできる能力を身に付けさせることを期待する。

③地域との協働に係る取組について

- 市役所の商工観光課主催の様々なイベントにおいて、玉野高校はなくてはならない存在である。今後も何らかの形での連携を期待する。
- 普通科単独校ではあるが、進路を先まで見通し、早めに就職にも目を向けることで、民間企業は連携・協力しやすくなる。
- 地元の企業として、学校へいろいろなことを提案させてもらうことができる。企業として、持続可能な連携を考えていきたい。
- 少子高齢化により玉野市の地域は小さくなっている。リーダーの平均年齢が高い地域が多く、若い人と一緒に考えながら、活性化を進めている。地域が変化して高校生がおもしろいと感じてくれる取組も必要だが、高校生も地域に対して関心を持つ取組が必要であり、TGSプランはとても興味深い。
- 移住者は玉野市の魅力を語ってくれる存在であり、改めて玉野市の魅力を発見することができる。
- 敢えて失敗することも視野に入れた取組などで中学校と連携ができるのではないかと。

(4) 協議

協議の結果、出席委員全員の賛同をもって、今年度玉野高校の、①学校経営について、②教育課程及び組織編成について、③予算執行について、いずれも承認された。

閉会